

# 南会津を自転車で走ろう2019秋（西エリア）チェックポイント一覧

※自転車を入れ写真の場所を撮影しよう！中に自転車が入れない場所では、近くのそこが特定出来る場所であればOKです。

<p>鹿嶋神社 トチの大木</p>  <p>長治元年(1104年)創立の鹿嶋神社の境内にある。樹齢推定500年、樹高30m、胸高周囲5m。県内有数のトチノキ巨木。御神木として地区住民が献植したものです。</p>	<p>道の駅番屋</p>  <p>会津西南部の標高800mを超える数多くの山々に囲まれた「道の駅番屋」は、その中を走る国道352号線沿いにある福島県側「尾瀬」への玄関口です。</p>	<p>歓満の滝</p>  <p>民衆の歓びが満たされることを願い、明治時代に景勝「歓満の滝」と命名されたようです。地元の人の間では、「蛇滝」という名で昔から親しまれています。</p>	<p>たのせふる里公園</p>  <p>館岩川沿いにあり駐車場、公衆トイレ、東屋をそなえています。漁期にはヤマメ特別漁区としてにぎわっています。</p>
<p>大橋の清水堂</p>  <p>御蔵入三十三観音第27番札所。堂内に三十三体の観音像が納められ、清水堂を参拝すると、三十三観音全て巡った時と同じご利益があると伝えられる。</p>	<p>青柳観音堂</p>  <p>御蔵入三十三観音第26番札所です。高台にあり境内からの眺めは最高です。</p>	<p>花泉酒造</p>  <p>大正9年創業。地域と造り手の気持ちにこだわった酒造りを行っています。水は町内の高清水という超軟水の湧水を使用。仕込の特徴はもち米4段仕込みです。</p>	<p>古町の大イチョウ</p>  <p>旧伊南小学校の校庭にそびえるイチョウの巨木です。樹令は800年余と推定され、福島県の天然記念物に指定されています。</p>
<p>道の駅きらら289</p>  <p>日帰り温泉施設が併設され、館内のレストランでは、手打そばや南郷トマトラーメンなどの名物料理をご提供しています。</p>	<p>奥会津博物館南郷館</p>  <p>伊南川の漁撈用具、奥会津の燈火用具、麻織用具と麻製品、屋根葺用具と火伏せの呪具、南郷の歌舞伎衣装が展示されています。</p>	<p>奥会津博物館伊南館</p>  <p>久川城跡のすぐそばにあり、歴史と文化を伝える品々が展示されている博物館です。</p>	<p>屏風岩</p>  <p>伊南川の急流によって長い歳月をかけて形づくられた怪岩が天を突くようにそそり立つ屏風岩です。</p>
<p>ねっか奥会津蒸留所</p>  <p>只見町にできた日本一小さな蒸留所から生まれた米焼酎。蔵人たちが自ら、先祖伝来の土地で丁寧に米を育て、森から湧き出づる水で仕込みました。</p>	<p>会津只見考古館</p>  <p>縄文時代後期から弥生時代中期にかけて集落があり窪田遺跡といわれ、この史跡を保存するため考古館が建設されました。</p>	<p>ただみブナと川のミュージアム</p>  <p>只見町が「ユネスコエコパーク(生物圏保存地域)」に登録され、この豊かな自然環境の保全・調査・研究・展示・研修などの活動を行っています。</p>	<p>田子倉レイクビュー</p>  <p>田子倉ダムは一般の水力発電所としては日本最大級の出力を誇ります。</p>
<p>蒲生岳観光情報ステーション</p>  <p>会津のマッターホルン。360度パノラマ展望のハイキング登山向きです。</p>	<p>森の分校ふざわ</p>  <p>廃校になった旧分校を改装し、山村くらしの宿泊体験ができる施設です。</p>	<p>道の駅尾瀬檜枝岐</p>  <p>檜枝岐と尾瀬の観光拠点として、村内や尾瀬の観光情報、各種イベント情報を提供しています。レストランや物販、木工品販売所なども併設されています。</p>	<p>安宮清水</p>  <p>高倉の宮様が檜枝岐に落ち延び、お供が清水を見つけて宮様の喉の渇きを癒したと伝えられています。</p>
<p>檜枝岐村 歴史民俗資料館</p>  <p>檜枝岐の生活や歴史のほか尾瀬の自然を紹介する資料館です。</p>	<p>ミニ尾瀬公園</p>  <p>尾瀬の季節を一足早く、手軽に体験出来る公園として平成11年にオープンしたミニ尾瀬公園です。</p>	<p>六地藏(檜枝岐村)</p>  <p>檜枝岐村の中心部、国道352号沿い(沼田街道)いにたずむ六地藏は、凶作の年に間引きされた赤ん坊の霊と母親の嘆きを供養したお地藏様です。</p>	<p>檜枝岐の舞台</p>  <p>神にささげる奉納歌舞伎として270余年に渡り継承されてきた檜枝岐の伝統歌舞伎の舞台です。</p>